

〈評価基準〉	
A	・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	・・・当初の目的・目標を達成した
C	・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進捗管理(5年計画の3年目)	・基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 ・教育に関する事務の点検・評価の推進	教育総務			「倉吉市教育行政の点検及び評価」を市議会へ提出			進捗状況チェック、中間評価							・実施状況チェック、各課の自己評価 ・審議会等による評価の実施	B		
	倉吉市教育委員会の活性化	・倉吉市教育の方針の明示 ・住民の意向や教育現場の実情の把握 ・総合教育会議の充実 ・教育委員の活動の顕在化	教育総務	・計画訪問・諸行事等への参加 ・市ホームページによる情報発信(リレコラム等)	総合教育会議の開催(5/30) 東伯地区・倉吉市合同研修会(5/24)	学校計画訪問(6/29北谷小)	学校計画訪問(7/5東中)	鳥取県市町村教育委員会研究協議会定期総会・研究大会(7/9) 市町村教育委員会委員研修会(7/31)	市町村教育委員会委員研修会	学校計画訪問(10/3明倫小) 学校計画訪問(10/22河北中) 学校計画訪問(10/31上灘小)	学校計画訪問(11/7関金小) 学校計画訪問(11/13小鴨小) 学校計画訪問(11/20上北条小) 学校計画訪問(11/26灘手小)		総合教育会議の開催(12/26)			学校計画訪問、諸行事へ積極的に参加した。また、計3回のリレコラムや教育委員会定例会、市長との意見交換の場である教育総会を2回開催し、その会議録等をホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B	B	
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	・適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施	学校教育	対象小学校区適正配置(協議会立上げ)についての説明	5/22 高城地区協議会長と協議 5/24 北谷地区協議会長と協議	6/11 北谷地区協議会長と協議 6/12 灘手地区協議会長と協議	適正配置に関する各地区協議会立上げ 7/11 成徳地区協議会長と協議 7/12 明倫地区・社地区協議会長と協議 7/17 小鴨地区協議会長と協議 7/23 成徳地区委員と協議		関係地区協議会長と協議						協議会立ち上げに係る説明会(予定)	・関係地区との協議、意見交換を重ねてきた。今後の進め方について、全体会を開催して理解を得、来年度から協議を進められるように準備しているところである。	C		各施策について、概ね当初の計画とおり実施することができた。  ・各地区の代表者の方々との意見交換を重ねてきた。調整の結果、適正配置協議会委員名簿の未提出の地区からも、3月末には名簿を提出していたと予定である。4月以降、小学校適正配置協議会を立ち上げ、協議を進めていく。  *成果指標 A：学校統合準備委員会設立 B：適正配置協議会設立 C：進展なし
	学校教育施設・教育施設の整備運営	・プール改修工事(上北条小、上灘小、久米中) ・屋根雨漏り改修工事(東中屋体、西中トイレ、久米中管理棟) ・西中屋体トイレ排水管改修工事 ・鴨川中寄宿舎床タイル改修工事 ・長寿命化計画策定に係る調査 ・エアコン設置(高城小特別支援教室) ・(新)ブロック塀等改修工事 ・ICT機器整備(PC教室等教育用LANシステム含む)整備計画の策定ほか	教育総務	〔プール改修工事〕 〔屋根雨漏り改修工事〕 〔西中屋体トイレ排水管改修工事〕 〔長寿命化計画策定に係る調査〕 〔高城小エアコン設置〕 〔ICT機器整備に係る計画策定ほか(教員用PCについては入札を6月頃、整備は8月末までに完了)〕 〔施設修繕全般〕													・プール、屋根、トイレ排水管並びに鴨川中寄宿舎床タイル改修工事については、年度内に完成し当初の目的は達成できた。 ・施設修繕ならびにPC整備等については、予算の範囲内において可能な改修、更新を行うことができた。 ・ICT機器整備に係る計画策定は、3回検討委員会を開催し検討・継続することができた。 ・年度中新規で小中学校のブロック塀等安全対策事業を計画し、改修工事実施に向けてブロック塀等改修設計業務を繰越契約することができた。	B	

(評価基準)
A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B・・・当初の目的・目標を達成した
C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
2	学力向上の推進	・学力向上推進の支援(小・中連携教育の推進、合同研修会)	学校教育	中学校区教育の計画作成					中学校区別小中合同研修会 久米中校区(8/8)	中学校区合同研究授業 西中校区(9/29)	中学校区合同研究授業 河北中校区(10/25)	中学校区研究授業 鴨川中校区(11/12)			特色ある中学校区教育の成果と課題の把握と改善策の提案 中学校区別小中合同研修会 東中校区(2/29)		B	・全国学力・学習状況調査においては、小学校算数の活用問題が全国平均をやや下回った。中学校においては、国語、数学の活用問題がやや下回っている。 *成果指標 A：全国平均より5ポイント以上上回る B：全国平均と概ね同程度 C：全国平均より5ポイント以下下回る	
		・わかる授業のための授業改善(教職員の指導力の向上)	学校教育	研究主任研修会(4/12) 中学校NRT(標準学力検査)実施 全国学力学習状況調査(4/17)		学校計画訪問での指導助言 要請訪問(6/20 高城小)(6/20 上北条小)(6/27 灘手小)(6/27 久米中)(6/29 北谷小)	学校計画訪問での指導助言 要請訪問(7/4 明倫小)(7/4 北谷小)(7/4 上北条小)(7/5 東中)	授業改善研修(講師招聘・市初研と共催)(8/1) 全国学力学習状況調査分析及びホームページアップ(8/20)	学校計画訪問での指導助言 要請訪問(9/12 高城小)(9/12 社小)(9/19 明倫小)(9/22 上小鴨小)	学校計画訪問での指導助言 要請訪問(10/3 小鴨小)(10/5 上小鴨小)	学校評価による点検 要請訪問(11/14 成徳小)	成果と課題の共有と改善策についての検討(研究会等) 中学校CRT実施(1,2年)	授業づくりに対する指導助言 要請訪問(1/30 高城小)(1/30 久米中)	授業づくりに対する指導助言 要請訪問(2/8 関金小)	学力実態の把握と分析研修計画	・全国学力・学習状況調査結果の分析から、授業改善の視点を明確にして日々の実践に活かす取組が見られた。 *成果指標 A：全小中学校が授業改善に向けての取組を行う B：13校/18校が授業改善に向けての取組を行う C：12校以下	A	・全国学力・学習状況調査結果をもとに、市内の小中学校が授業改善に向けた授業研究を積極的に行うようになっている。 *成果指標 A：全小中学校が授業改善に向けての取組を行う B：13校/18校が授業改善に向けての取組を行う C：12校以下	
		・細やかな指導を行うための体制づくり(少人数学級・教員加配)	学校教育	加配教員配置 加配教員研修												少人数加配の成果と課題の検証 改善に向けての検討	・7校に加配を配置。学校、学年、学級の実態に応じた少人数指導を実施。 ・今後、より効果的な少人数指導のあり方について、校内研究推進と連携しながら継続検討していく必要がある。	B	・小学校においては、積極的に県事業を受け、全国学力・学習状況調査結果の分析から、授業改善の視点を明確にした取組がなされるようになってきた。 ・平成32年度、英語の教科化に向け、各小学校が英語の授業を先行実施をしている。 *成果指標 A：全小学校が先行実施の取組を行う B：9校/13校が授業改善に向けての取組を行う C：8校以下
		外国語教科化の対応(小学校・中学校)	学校教育	外国語活動支援員授業計画作成 小学校英語専科教員計画作成・実施・助言(年間) Team Kurayoshi ALTs実施要項配布申し込み 小学校外国語・外国語活動教材全児童分印刷・配布	中学校区別外国語指導助手(ALT)授業計画作成 外国語授業開始 TKA①(5/30) 専科教員配置3校定例会(5/24)	学校計画訪問での指導助言 年間指導計画作成への助言(西郷小・小鴨小) 3校(明倫・成徳・灘手)5・6年生集合学習(6/14) TKA②(6/13) TKA③(6/27) 専科教員配置3校定例会(6/18)	小学校英語パワーアップ事業連絡協議会(西郷小・小鴨小) ALT2名離任 TKA④(7/4)	英語研修(教職員対象・児童対象) 新規ALT2名着任 イングリッシュシャワーーム(8/21,上灘公民館、午前18名、午後20名参加) CAN-DOリスト活用研修会 3校(明倫・成徳・灘手)3・4年生集合学習(8/30) 専科教員配置3校定例会(8/20)	小学校英語パワーアップ事業連絡協議会(西郷小・小鴨小) TKA⑤(9/5 関金小学校 ALT4名参加) 専科教員配置3校定例会(9/28)	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言) 指導案作成への助言(西郷小・小鴨小) TKA⑥(10/17) TKA⑦(10/31 小鴨小) 専科教員配置3校定例会(10/23)	小学校英語活動研修(講師招聘・市小学校長会・東伯郡小学校長会との共催) TKA⑧(11/14) 東中 TKA⑨(11/28)	授業力向上への助言(校内授業研究会での指導助言及び日々の授業への助言) TKA⑩(12/5) 専科教員配置3校定例会(12/8)	小学校英語教育推進リーダーによる研修 TKA⑪(1/30)(西郷小) 平成31年度外国語・外国語活動年間指導計画作成 3校(明倫・成徳・灘手)1・2年生集合学習(2/13)	平成31年度外国語・外国語活動年間指導計画配布	・小学校における外国語専科教員を配置し、明倫小・成徳小・灘手小の3年生から6年生までの授業を担当していただいた。積極的に授業公開をし、配置校のみならず、市内小中学校の先生方に研修の機会を持つことができた。 ・イングリッシュ・シャワーームは最終年度となり、授業での活動作りを参加された先生方にして頂いた。 ・全てのALTの先生方が希望された学校に順番に集結し、授業に参加される行事を立ち上げた。概ね好評だが、今年度は参加校が少なかった。来年度はより多くの学校に参加して頂けるよう啓発していきたい。	A	・成徳、明倫、灘手小学校においては、英語専科教員を1名配置(兼務)し、英語の授業を実施している。配置校だけでなく、市内小中学校の先生方に研修の機会を持つことができた。 *成果指標 A：子どもの意識(好き)90%以上 B：子どもの意識(好き)85%以上 C：子どもの意識(好き)85%より低い		

豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成

(評価基準)
A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B・・・当初の目的・目標を達成した
C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	豊かな心とたくましい体の育成	・人権教育の充実(育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	第1回人権教育主任者会(4/12) 講師 鳥取県教育委員会人権教育課 山本指導主事		第2回人権教育主任者会(6/15) 講師 鳥取県教育委員会人権教育課 山本指導主事「年間指導計画の見直し」		第3回人権主任者会(8/10) 講師 小椋教育長・人権政策課長・下吉補佐						第4回人権主任者会(2/15) 各学校実践報告指導助言鳥取県教育委員会人権教育課 山本指導主事	少人数加配の成果と課題の検証 改善に向けての検討	B		・人権教育の取組については、各地域の考えもあり、学校の取組に温度差が出てきている。  ・人権教育の取組については、教育課程全般で人権意識を育てようとする学校が多くなっている。  ・「特別の教科道徳」については、特に混乱もなく学校現場に導入することができた。 *成果指標 A：円滑に実施できた13校/13校 B：円滑に実施できた9校/13校 C：円滑に実施できた8校以下
		・道徳教育・体験活動の充実(乳幼児ふれあい事業)	学校教育	小学校にて教科道徳開始	乳幼児ふれあい会(小学校13校、中学校5校は家庭科の中で実施) 小鴨小 5/22, 24, 28	道徳授業改善についての発信 乳幼児ふれあい会 上灘小6/7, 8 明倫小6/15 上北条小6/18 関金小6/18 西郷小6/20, 25 灘手小6/22 河北小6/26, 27 成徳小6/28 北谷小6/28 上小鴨小6/22	道徳教育主任研修会	平成31年度中学校道徳教科書採択(東京書籍版) 乳幼児ふれあい会 高城小9/12 上小鴨小9/12 西郷小9/13, 18 上灘小9/20, 21	乳幼児ふれあい会 小鴨小10/1, 4, 9 河北小10/3, 5 灘手小10/5 成徳小10/18 関金小10/23 北谷小10/25	乳幼児ふれあい会 社小11/7, 9 上北条11/13 明倫小11/22	乳幼児ふれあい会 高城小12/4	平成31年度道徳年間指導計画作成(各校)	乳幼児ふれあい会評価		A		・小学校で教科道徳が始まった。各校で研修を積まれて評価に繋げて頂いた。 ・小学校13校が年間2回の乳幼児とのふれあい会を児童センター等と連携して実施した。中学校5校は、家庭科の学習の中で保育体験を実施した。乳幼児の成長に驚きと喜びを感じ、自分も大切に守り育てられてきたことを実感することができた。	
		・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、(倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策)	学校教育	・生徒指導主任・主事研修会 ・心の教室相談員、子どもと親の相談員配置 ・SSWRによる支援活動(年間) ・重点校における定例会の開催(年間) ・生徒指導支援会議(年間)	各校個別の指導計画、登校サポートシート作成・活用(年間) 生徒指導についての学校計画訪問(前期) 要保護児童対策会議(随時) 子ども支援センター児童生徒受け入れ 不登校児童生徒への家庭訪問の実施 不登校対策(担当との連絡及び助言各月末に)年間 教育心理相談士による研修④	生徒指導対策推進会議① 生徒指導対策推進会議② 先進地視察	不登校児童生徒へのアウトリーチ型支援開始	第1回青少年問題対策協議会 先進地視察(8/23鳥取市立桜ヶ丘中学校 SSWR及び発達障がい支援アドバイザー合計5名)	倉吉市不登校児童生徒保護者の会	生徒指導についての学校計画訪問(後期)	・「人間力・組織力による不登校改善事業」講師招聘支援(11/10東京医療保健大学医療保健学部看護学科 渡會睦子氏 西中)	・「人間力・組織力による不登校改善事業」中間報告会への指導助言(小鴨小・西中)		第2回青少年問題対策協議会	卒業生に係る中学校訪問(ハートフルスペース職員同行)	B	B	・不登校・いじめの未然防止に資するため、初めて「教育相談研修」を実施した。参加対象を、管理職、養護教諭、教育相談担当教員、心の教育相談員、生徒指導主事と、回によって変え、それぞれの立場で教育相談を考える契機にして頂いた。 ・スクールソーシャルワーカーが、児童生徒を取り巻く環境をよく理解し、働きかけることで難しいケースが上向くことがあった。 ・長期欠席児童生徒数小学校28名(前年度比±0)、中学校60名(前年度比-4)12月末 ・子ども支援センター入級児童生徒7名 ・本当の未然防止ができるよう、学校に働きかけていきたい。
		・たくましい体の育成(体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実)	学校教育	・親子で学ぶ食の教室希望調査(小学校13校年間を通じて随時)	児童体育祭(5/9) 運動会(5/19小学校9校、5/26小学校3校) 新体力テスト 通学路の危険箇所抽出一昨年度の安全対策についてアンケートの実施	第1回学校保健委員会 県中学校総体予選(6/7~6/9) 喫煙防止教育(小中学校18校年間を通じて随時) 倉吉市通学路の安全確保に係る担当者会の開催(6/26) ブロック塀調査	県中学校総体(7/21~7/22) 小学校中部水泳(7/26) 鳥取県中学校総合体育大会結果報告及び全国大会・中国大会出場激励会(7/27 成徳小学校、98名参加) 通学路の危険箇所合同点検(7/25)	鳥取県小学校水泳大会(7/26)	小学校中部陸上 中学校中部駅伝 運動会(9/8中学校5校、9/16小学校1校) 倉吉市通学路の安全確保に係る担当者会(9/14) 防犯の観点からの通学路点検	中学校中部新人大会 倉吉市通学路の安全確保に係る連絡協議会の開催	性教育講座(中学校5校年間を通じて随時)		・中学校運動部活動ガイドライン作成	第2回学校保健委員会 倉吉市通学路の安全確保に係る連絡協議会(2/7)	B	B	・体力テストでは、全体としてはB評価であるが、学年、男女別では課題がある。 *成果指標 総合判定でA~C判定が80%に達する学年(男女別)の割合 A：全小中学年の12/18以上 B：全小中学年の7~11/18 C：全小中学年の6/18以下	

(評価基準)
A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B・・・当初の目的・目標を達成した
C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	・倉吉独自の教材づくりの推進(くらし風土記の活用)	学校教育	小学生副読本「わたしたちの倉吉」活用	授業で随時活用						倉吉検定実施(久米中)		倉吉検定実施(河北中)			・今年度初めて、2中学校で倉吉検定を実施できた。	B	・倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成のために、土曜授業等において中学校版「くらし風土記」、小学校版「わたしたちの倉吉」の活用を行った。
		2	・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	地域教材・ゲストティーチャーを活用した学習(年間)	全校遠足(伯耆国庁跡、伝統的建造物群など)まち探検(生活科、社会科)博物館を利用した学習						歴史民俗博物館を利用した学習					・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んでいる。体験学習も取り入れられており、児童生徒がふるさと倉吉への思いを深め、関心を高める一助となっている。	A	・倉吉検定を実施したが、最高得点が60点程度であり、倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成のために、さらなる取組が必要である。
		3	・土曜授業の実施(ふるさと学習を中心とした地域との共催)	学校教育		土曜授業(5/26) 明倫小 クリーン活動、成徳 打吹山植物調査、小鴨小 地域探検・米づくり、上小鴨小 地域探検・椎茸栽培・あたごクロスカントリー、北谷小 地域探検・子どもちっぼ、高城小 地域探検・地域の写生、東中 くらし風土記、河北中 地域探訪・ふるさと講義	土曜授業(7/7) 台風のため中止			土曜授業(9/29) 河北小・山上徳良の学習、明倫小 めいりんウォークラリー、成徳 植物調査、上灘小 上灘じまん、小鴨小 小鴨に伝わる昔話・中井太郎と太一車、北谷小・灘手小 クリーン活動、上北条小 天神川の歴史・水質、社小 五輪祭り・灯籠作り、灘手小 安倍川探検・すみよい灘手にするために、関金小 せきがね親子ウォーク、高城小 牛追い掛け、東中 ディスカバー倉吉、河北中 福祉体験・職場体験、鴨川中 関金の歴史・地理・自然、東中 倉吉の歴史・文化を知る		土曜授業(11/10) 西郷小 ありがとう集会、成徳小 親子料理教室・自然体験、上灘小 町探検・盲導犬・手話、小鴨小 災害に備えよう、上小鴨小・関金小・社小・明倫小 校内マラソン大会、北谷小 ふれあいどろんこ祭、高城小 ふれあい参観日・地域とふれあいの活動、灘手小 灘手駅伝大会、東中・久米中・河北中 進路学習、東中・久米中・鴨中 性教育		土曜授業(1/19) 西郷小 開筵式、河北小 倉吉の昔話・地域の仕事・戦争体験・薬物乱用防止、明倫小 昔の遊び、成徳小 推茸の植菌、上灘小 人形劇倉吉の昔話・もちつき交流会・防災学習、小鴨小 ボテ茶体験・子供会発表会、上小鴨小 昔の遊び・性教育・メディア、北谷小 こも豆腐づくり・しいたけ植菌・昔の遊び、灘手小 灘手いいところカルタ、上北条小 書き初め、関金小 昔遊び・年賀状抽選会・能力アップチャレンジ、東中 進路学習・琴櫻、西中 校区の歴史を学ぶ、久米中 手話講座、愛校活動人権学習、河北中 進路学習・性教育、鴨川中 進路学習	アンケート実施(成果と課題の把握)		・各小中学校が創意工夫をして地域・保護者と協働した活動を展開していた。「ふるさと学習」を意識した取組となるよう周知し、ふるさとについて改めて知ったり考えたりする機会となった。	A	・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んだ(市バス利用)。
		4	・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	地域と連携した菜の花プロジェクトの実施(年間)	倉吉市小・中学生淀屋サミットの開催(5/12)小学生39名、中学生21名、高校生3名		菜の花の種子散布 成徳小8/31	菜の花の種子散布 上灘小(9/19,25) 上小鴨小(9/20) 上北条小(9/20) 関金小(9/20) 高城小(9/21) 小鴨小(9/27) 明倫小(9/28) 社小(9/29) 北谷小(9/29) 灘手小(9/29) 東中(9/29) 鴨川中(9月下旬)	菜の花の種子散布 河北小(10/1) 久米中(10/5) 河北中(10月上旬)	中学生関係機関訪問 JA(10/11) 国交省(10/12)	菜の花プロジェクト報告会(12/8)			・今年度で10年目となり、学校が主体となって地域を交えた取組が定着してきた。今年度は、中学校区での共通実践に取り組んだ。	A	・平成30年度、土曜授業の実施4回。倉吉市立小中学校で実施。		

(評価基準)			
A	・	・	・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	・	・	・当初の目的・目標を達成した
C	・	・	・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	・	・	・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	5 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	・開かれた学校づくりの推進(学校評価の効果的な活用)	学校教育	学校ウェブページの更新													B	・学校公開を市内小中学校で6月に実施した。2学期については、各校が独自に実施した。 *成果指標： 児童生徒の活動の様子を公表 A：全小中学校 B：12校/18校以上の小中学校が公表 C：11校以下
		学校地域連携の取り組み推進(子どもの出番づくり)	学校教育	上灘桜まつり芸術発表等参加(東中・上灘小 4/7)	地区運動会の運営補助		各地区夏まつりに参加 玉川清掃(成徳小 7/12) ぬのこ祭り(北谷小 7/14) みつぼし踊り(成徳 7/28)	教育を考える会 灘手地区(8/9)	教育を考える会 北谷地区(9/11)	教育を考える会 上井地区(10/6) 小鴨地区(10/11)	各地区文化祭に出演・出品 教育を考える会 明倫地区(11/6) 関金地区(11/22) 成徳地区(11/22) 高城地区(11/20) 社地区(11/16) 上灘地区(11/22)	教育を考える会 西郷地区(1/26)	教育を考える会 上北条地区(2/8)		・13地区で「教育を考える会」を実施。各地区において子どもの成長を考えた内容のものが実施され、熱心に協議等が行われた。	A	・学校地域連携の取組は、各地域の実情を踏まえ充実した取組がなされるようになった。一方で、地域からの支援だけでなく地域への支援といった学校の地域参画も必要である。 *成果指標 A：各地区行事の参加率80%以上 B：各地区行事の参加率60%以上 C：各地区行事の参加率60%より低い	
		・学校運営に参画する体制づくり(地域学校委員会の充実)	学校教育	各校地域学校委員会 地域学校委員任命 ボランティア募集開始 学校支援ボランティア活動(年間)		第1回倉吉市地域学校推進協議会		各校地域学校委員会(一学期のまとめ)				各校地域学校委員会(二学期のまとめ)		倉吉市地域学校推進協議会(2/23)	各校地域学校委員会(三学期のまとめ)	・各学校の地域学校委員会が地域の特色を生かして活動し、地域と学校との連携がより強化されてきた。	A	・就学前発達・教育相談を実施することによって、より多くの相談を受けることができた。 *成果指標 A：相談件数各校平均5件以上 B：相談件数各校平均3件以上 C：相談件数各校平均3件より少ない
6 よりよい倉吉教育を目指して	2 家庭教育の充実(研修機会の拡大)	・特別支援教育の充実(児童生徒を支える学校体制づくり)	学校教育	特別支援教育主任研修会(4/12) 教科指導法研究事業の実施	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 第1回教科指導法研究事業研修会(5/11) ひらがな指導者研修会(4/23)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 1年生訪問 1年生運動機能実態調査	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 第2回教科指導法研究事業研修会(7/30) 第2回特別支援教育主任者等研修会(7/27)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 リーダー育成研修会(特別支援教育主任者等研修会に変更)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 リーダー育成研修会(変更) 市就学指導委員会(9/26)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 リーダー育成研修会(変更) 市就学指導委員会(10/29)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 リーダー育成研修会(変更) 市就学指導委員会(11/30)	まなびの教室教育相談 就学前発達・教育相談会に変更 第3回教科指導法研究事業研修会(1/21)	第4回教科指導法研究事業研修会 倉吉市子どもの発達支援研修会(2/3) 第3回特別支援教育主任者等研修会(2/12)	1年間を終えての指導に関するアンケート	・まなびの教室教育相談から就学前発達・教育相談会に変更したことによって、より多くの相談を受けることができ、就学予定の小中学校との共通理解にもつながった。 ・教科指導法研究事業では体育科の実践を行い、市内1年生担任対象に研修を深めることができた。	B	・核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化など、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が課題として残る。 ・今後、保護者の我が子に対する意識を何らかの方法で測って把握し、効果的な取組につなげていきたい。	
		家庭教育の充実(研修機会の拡大)	学校教育							教育講演会の実施(9/21)		市教育委員会と市小P連懇談会(11/6)			・小P連・中P連との共催により教育講演会を開催して4年目となった。講師にFCカミノ代表吉川氏を迎え、親子ともに笑顔で子育てをするために大切なことを学んだ。	B	・新入学学用品費については、昨年度からの懸案事項であった2月中の支給を行うことができた。	
		・教育助成の充実(就学援助事業の周知と適切な執行)	教育総務	就学援助の委任状・口座等とりまとめ 修学旅行費支払い		学用品費等支払い					学用品費等支払い 特別支援教育就学奨励費支給決定 特別支援教育就学奨励費支払い			就学援助審査会(早期支給分)	就学援助審査会	・新入学学用品費の就学前支給を昨年度より早い2月末に行った。 ・特別支援教育就学奨励費を当初より早い時期に支給を行うことができた。	A	・新入学学用品費については、昨年度からの懸案事項であった2月中の支給を行うことができた。

(評価基準)
A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B・・・当初の目的・目標を達成した
C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	7 学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭等による食に関する指導	給食センター	・指導計画作成及び指導案提示 ・全学級訪問指導（教科等での指導） 給食時間を活用した食に関する指導 1回	給食時間を活用した食に関する指導 4回 教科・学活等を活用した食に関する指導 2回	給食時間を活用した食に関する指導 3回 教科・学活等を活用した食に関する指導 7回 親子で学ぶ食の教室 11回 学校保健委員会 3回 給食試食会 3回 鳥取県食生活改善推進員連絡協議会研修会(5/22)	給食時間を活用した食に関する指導 13回 教科・学活等を活用した食に関する指導 9回 親子で学ぶ食の教室 4回 学校保健委員会 10回 JAジャガイモ収穫体験(6/26)	給食時間を活用した食に関する指導 1回 教科・学活等を活用した食に関する指導 2回	給食時間を活用した食に関する指導 4回 教科・学活等を活用した食に関する指導 10回 親子で学ぶ食の教室 2回	給食時間を活用した食に関する指導 6回 教科・学活等を活用した食に関する指導 25回 親子で学ぶ食の教室 2回	給食時間を活用した食に関する指導 11回 教科・学活等を活用した食に関する指導 32回 給食試食会 1回	給食時間を活用した食に関する指導 16回 教科・学活等を活用した食に関する指導 10回 親子で学ぶ食の教室 1回	給食時間を活用した食に関する指導 9回 教科・学活等を活用した食に関する指導 11回 学校保健委員会 1回 給食週間行事の実施 市長を囲んでの会食会(1/28 西郷小)	給食時間を活用した食に関する指導 1回 教科・学活等を活用した食に関する指導 6回 学校保健委員会 10回 児童・生徒作品展(2/2～2/3までエキバル倉吉多目的ホール、2/3～2/8まで倉吉交流プラザエントランスで展示) 倉吉幼稚園の給食センター施設見学(2/20)	学校保健委員会 3回	給食主任や学級担任等と連携しながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、栄養教諭・学校栄養職員による全学級訪問指導を計画どおり183回実施した。 「親子で学ぶ食の教室」については、計画どおり給食センターで20回実施した。	A	A	小中学校9年間を通じて計画的な指導を行うことにより、児童・生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。 調理業務の衛生管理等を徹底することで、安全・安心な給食の提供につなげることができた。 児童・生徒全員を対象とした食物アレルギー用献立表や、給食センターで食物アレルギー対応をしている児童・生徒の個別献立表で情報提供を行い、学校教育課・学校現場・保護者と連携しながら食物アレルギー事故の防止を図ることができた。	
		2 学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底	給食センター	(通年)「定期及び日常衛生検査」による点検と改善													学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら委託先の責任者と協議し随時指導を行った。	B		
		3 食物アレルギー対応の推進	給食センター	(通年) ・食物アレルギー対応食の提供 ・食物アレルギー対応の検討					・食物アレルギー対応研修会(8/2開催、参加者29名)									給食センターが食物アレルギー対応している児童・生徒の保護者、教職員等を対象とした研修会を開催し、関係者が共通認識を持って対応にあたることを確認した。	A	

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月				
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	地域力を育む社会教育の推進 ～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	1 成人式(成人式実行委員会、中学生ボランティアによる運営)	生涯学習	・成人式実行委員募集				・成人式実行委員会(第1回) 8/10、8/16、8/18	・成人式実行委員会(第2回) 9/8	・成人式実行委員会(ミニ) 10/17	・成人式実行委員会(第3回) 11/4	・成人式実行委員会(第4回) 12/27	・成人式(1/3) ・中学生ボランティア ・実行委員会OBボランティア	・成人式実行委員会(第5回) 3/10	A		○昨年からの課題であった成人式の警備体制の充実を図り、何事もなく式を行えた。 実行委員としての経験が後輩の成人式実行委員会の支援に繋がるよう、また社会人になってからも助け合える仲間作りに繋がるよう、成人式を核にした若者の新たな世代を繋ぐ機会となるよう引き続き事業を展開していきたい。  ○各種講座は、昨年度に引き続き地域課題を意識しながら実施。学習成果を地域の活動に活かせる内容とした。特に生涯学習講座では知識を深めるだけでなく、県立美術館の建設に向けて参加者の意識を高める契機となった。また、第3回講座では高校生など若い世代が将来について考える機会となった。  ○看大・鳥短公開講座、鳥大講座ともに、地域の課題と大学の専門性の均衡を図った学習機会の提供でもって、参加者の学びが深まった。外部講師も招き、全講座を通して50人以上参加者が増加した。
		2 各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受ける機会確保(鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会)	生涯学習	・夏休み講座検討会・社会教育事業検討会 ・人材銀行てびきの発行 ・利用PR(市PTA連・自治連)	・看護・短大(第1回) 6/15・100人 ・看護・短大(第2回) 6/29・69人 ・看護・短大(第3回) 7/20・136人 ・看護・短大(第4回) 8/3・62人 ・看護・短大(第5回) 8/17・113人 ・生涯学習講座(特別講座) 8/4・129人 ・夏休み講座検討会・社会教育事業検討会(8/31) ・「サークル活動」(1回)	・看護・短大(第1回) 9/22・65人 ・生涯学習講座(第2回) 10/14・56人、第3回10/27・50人、再内研修)	【看大・鳥短公開講座】「学び続けて生きる」をテーマに、自然・人との関わり・地域・文化などを学ぶ講座を実施。全体的に参加者が増加し、学びの機会となった。  【生涯学習講座】「美の匠」をテーマに、全4回講座と市内研修を行った。文化芸術に親しみ、郷土に愛着と誇りを持つきっかけとするというねらいが達成された。第3回講座では、高校生に司会や受付を行ってもらった。これに加え、県と連携して「若者講座」を実施。市内外の若者が学習・交流を図る取り組みとなった。  【人材銀行】講師活用の費用面を見直し、利用者に分かりやすい手引き作成をした。また、自治公民館連合会等でPRを行い活用の拡大に努めた。  【女性教育】各中学校区での活動及び全市における研修を行い、学びを通じた参加者の交流も図ることができた。										

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	支えあう人づくり・輝くまちづくり～絆づくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1 青少年の健全育成と青少年団体の育成支援(子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室)	生涯学習	・ものづくり指導者派遣、手づくり教室の実施(年間)		・市子ども会連絡協議会総会(6/1)	・ものづくり指導者養成講座	・県サマースクール台湾台中市派遣(8/4-7・7人)	・ものづくり指導者養成講座(9/8,9/9・37人)	・市子ども会リーダー研修会	・市子ども会リーダー研修会(11/18・18人)	・倉吉ハイスクールフォーラム(12/24・168人)	・市子ども会育成者研修会	・市子ども会育成者研修会(3/23)	・市子ども会リーダー研修会	・市子ども会第2回理事会(2/8)	・【子ども会】倉吉市子ども会育成連絡協議会が実施する研修会に加え、鳥取県子ども会育成連絡協議会等が実施する研修会にも参加者が多く、児童や保護者間で子ども会活動への理解や取り組み方が広がった。またサマースクール団へ倉吉から7名の生徒を派遣した。	B	○「子ども主体による子ども会運営」とする子ども会のあり方等を研修会で取り上げ、子ども会の活動支援に繋がる事業が実施できた。また、サマースクール団への派遣を通して、国際理解が深まり、国際交流が図られた。 ○異なる地域や学校の青少年が、ともに自然の中で体験活動を行うことで、仲間作りや自然の大切さを学んだ。 ○地域住民や中学生に、高校生の活動や取り組みだけでなく、社会や地域に対する高校生の考えを知ってもらう機会となり、今後の地域との連携につながる契機となった。 ○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。天候等で中止となる事業が多かった。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行った。
		2 放課後子ども教室推進事業(総合プラン→ <del>一体型</del> 子どもいきいきプラン、通学合宿)	生涯学習	・第1回放課後子ども教室運営委員会(4/26)	・関金放課後子ども教室(一体型)開級(児童館連携)	・放課後子ども教室(関金1地区)	・各地区子どもいきいきプラン実施				・第2回放課後子ども教室運営委員会(10/30)						運営委員会を2回実施。事業内容と進捗を確認した。各地区における放課後子ども教室については、市内で15教室(13地区、関金まなび教室、関金わくわく教室)、年間を通して実施した。	B	○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。天候等で中止となる事業が多かった。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行った。今後の啓発活動への手がかりを得た。
		3 倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協議会との連携	生涯学習	・街頭補導(毎月)	・第1回評議委員会(5/25)	・第1回運営委員会(5/11)		・第2回運営委員会(7/6)	・「家庭の日」絵画作品募集	・第1回倉吉市青少年育成協議会(7/10)	・第3回運営委員会(9/28)	・高校生マナーアップさわやか運動(9/11~14)	・家庭の日絵画作品審査会(9/12)	・第4回運営委員会(11/29)	・第5回運営委員会(1/25)	・「家庭の日」絵画作品巡回展(1/18~28)	・第2回評議委員会(2/20)	・第6回運営委員会(3月中旬)	【倉吉地区少年補導センター】倉吉地区少年補導センターの事業に関する協議や情報交換を行なう運営委員会を年6回、予算や事業計画について協議する評議委員会を年2回実施した。また、市町の定期的な街頭補導に加え、青少年関係者の研修会への参加、啓発に努めた。 【倉吉市青少年育成協議会】あいさつ運動や研修会への参加に加え、啓発活動に取り組んだ。

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	1 学習の質向上と学習成果の活用(公民館と地域振興の連携)	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館職員初任者研修会(4/12)</li> <li>公民館職員研修会(4/20)</li> <li>第1回市公連理事会(4/13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館職員初任者研修会追加分(5/15)</li> <li>公民館長研修会(5/8)</li> <li>公民館主事研修会(5/17)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館管理委員長会</li> <li>公民館主事研修会(6/21)</li> <li>第2回市公連理事会(6/15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館長研修会(7/10)</li> <li>公民館主事研修会(7/19)</li> <li>第3回市公連理事会(7/25)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館長研修会(8/7)</li> <li>公民館主事研修会(8/16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中部地区社会教育関係者研修会</li> <li>公民館長研修会(9/14)</li> <li>公民館主事研修会(9/20)</li> <li>第4回市公連理事会(9/14)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館管理委員長会(10/5)</li> <li>公民館長現地研修(10/2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館長会「語る会」(11/13)</li> <li>公民館主事研修会(11/15)</li> <li>第5回市公連理事会(11/30)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>館長会との意見交換(1/8)</li> <li>公民館主事研修会(1/17)</li> <li>社会教育主事講習</li> <li>第6回市公連理事会(12/12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館長研修会(2/12)</li> <li>公民館主事研修会(2/21)</li> <li>第7回市公連理事会(2/18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館管理委員長会(3/25)</li> <li>公民館長会(3/12)</li> <li>公民館主事研修会(3/14)</li> </ul>	<p>館長研修会や主事研修会を定例的に実施し、公民館職員としての質の向上を図った。主事が主体的に課題解決に取り組む研究部会では、地震対応マニュアル(初動期)の作成、事業報告様式の検討及び講師リストの作成、各種団体との連携を表に整理し見える化を行った。各部会での研究成果は全体で共有した。市公連・館長会と連携し、主に公民館事業の充実・課題解決等について検討・議論した。</p>	A	B	<p>○公民館事業が全国でも高い評価を受けており、実践発表の機会を通じてその事業や活動内容を県内外の社会教育関係機関等に発信した。</p> <p>○公民館まつりを通して、各地区公民館の取り組みを市民へ周知することができた。</p> <p>○公民館報のHP掲載を続け、公民館情報を広く発信している。</p>
		2 人づくり・地域づくりの推進(公民館研究指定事業)	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館研究指定事業の委託、運営支援</li> <li>情報発信(館報・HP紹介、マスコミ情報提供)</li> <li>成徳「高齢者学級」</li> <li>灘手「成人講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上井「健康づくり講座」</li> <li>社「青年学級」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小鴨「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上北条「青少年学級」</li> <li>上灘「地域づくり講座」</li> <li>明倫「成人学級」</li> <li>関金「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西郷「青少年学級」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北谷「健康づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高城「地域づくり講座」</li> <li>上小鴨「地域づくり講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館計画訪問(10/10～10/25)</li> <li>社：県社会教育振興大会実践発表(10/5中部地区社会教育関係者研修会実践発表に兼ねる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館まつり(12/6～8・作品展示来場者数1,244人、舞台発表来場者数480人)</li> <li>公民館研究大会(12/21・102人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上北条：県公民館研究大会実践発表(2/13)</li> </ul>	<p>【公民館研究指定事業】13地区各公民館において、青少年学級、地域づくり講座、健康づくり講座等それぞれの地域課題解決につながる学習機会の提供を行った。住民が企画や運営に関わることでより主体的に取り組むことができた。優良公民館表彰において全国で5館の優秀館に選ばれた上北条公民館は、地域の担い手不足の解消に向け、将来の地域リーダー育成を目的に実施した青少年学級が高く評価された。</p>	A	A	<p>○地区公民館が現在担っている機能の所管課が集い検討した。引き続き検討を進めていく。</p> <p>○安全で安心な公民館施設の維持管理に努めた。早急に対応が必要な課題について専門部局と確認・協議を実施し、公民館と連携しつつ業務を遂行した。</p>	

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画						取り組み計画						実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月						
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進	2 人づくり・地域づくりの推進			・中・高校生等青少年の公民館事業(祭り、運動会等)への参加推進	・若者講座講演会高校生ボランティア (6/16・高校生2人)	・若者講座WS高校生ボランティア (7/22・高校生4人)	・中学生ボランティア(地区夏祭り運営) ・上灘:夏休みお助け隊(8/7~10・高校生29人) ・関金:夏休みまなび教室(8/6~9・高校生3人)	・中学生ボランティア(地区運動会運営)	・生涯学習講座高校生ボランティア (10/27・3人)	・中学生ボランティア(地区文化祭運営)								A	B	
				3 公民館のあり方検討	生涯学習	H32年度以降の公民館運営について決定する。	各制度の整理 ・公民館長会(第3次倉吉市行財政改革計画について説明5/8)	館長会・主事会管理委員会協議 ・公民館主事会(第3次倉吉市行財政改革計画について説明6/21)			・第1回行財政改革庁内協議(9/28)	次年度以降の運営について内部決定	・第2回行財政改革庁内協議(11/19)						行財政改革のうち、施設のあり方に係る検討について、関係部署が集い数回にわたって協議を進めた。		
	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	4 安全安心な施設整備(公民館災害復旧工事(土北条、土井、西郷、土灘、明倫、灘手、北谷、高城、小鴨、土小鴨)、空調整備(西郷、北谷))	生涯学習	・修繕随時	・灘手公民館空調取替修繕業務(5/17~6/29)	・西郷公民館空調機取替(1F和室)(4/27~5/31)	・高城公民館空調機取替(6/12~7/10)		・昇降機修繕(西郷、成徳)	・灘手公民館大会議室サッシ取替業務(10/20~11/16)		・明倫公民館分電盤改修業務(1/24~3/15)	・明倫公民館駐車場舗装修繕(2/1~3/22)					大規模な修繕はなかったが、利用者の安心で安全な利用を促進するため、老朽化等の課題に対しアイデアを出し工夫しながら対応した。	B		

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った			
---	--	--	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	1 スポーツ推進に関する重要事項の調査審議	生涯学習	委員推薦・決定							委員の推薦・決定 第1回審議会				委員の推薦	委員の決定	委嘱状交付 第1回審議会	【スポーツ推進審議会】委員改選により新体制での開催となる。オリンピックが近づきスポーツを取り巻く環境は大きく変化していることから、今後は年2回の開催する。	B		○計画していた事業の運動及び各種団体の実態調査は進んでおらず、概ね昨年どおりの事業内を実施しただけであった。このため来年度も、今ある事業を再度見直し、事業ごとの連携を高めていくことを計画する。
		2 スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	桜相撲大会 (4/29)	スポーツクライミング 全日本ユース大会		市民体育大会 (水泳競技 7/16)	全国中学校ソフトボール 大会			市民体育大会 (倉吉マラソン ほか) 開催(12 競技10/8, 3競技10/14)	女子駅伝日本海 駅伝競走大会 (10/7) 中止	スポーツクライミング アジア大会	米子・鳥取間 駅伝競走大会 (11/10～11/11)	ニュースポーツ 交流会 (2/10)			【女子・日本海駅伝】両駅伝大会は台風の接近により大会史上初の中止とした。中止の判断のガイドラインの作成が今度の課題である。  【ニュースポーツ交流会】スポーツ推進委員が主催する事業と連動させたことで昨年度の13チームを上回る30チーム114名参加があり世代、地域を超える交流の場として進展した。  【市民体育大会】異常気象による高温の中開催し、熱中症等事故なく開催できたが今後も同じような課題が出てくると思われる。参加者が年々減少し今後の大きな課題となっている。  【各種協力大会】今年度は、アジア規模の大会も開催され、多くの市民がスポーツ活動のきっかけとなっている。しかしイベント後のフォローアップ的な事業が無いことから今後は大会後の事業展開を関係団と検討する必要がある。	B	B	○大規模スポーツコンベンションは、個々の事業を一過性のものとするのではなく、「スポーツ振興を通じて地域の活性化を図る」の視点をもって、ソフト事業の具体的な企画・立案を関係団体と進めていく必要がある。

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った			
---	--	--	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	2 スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	スポーツ教室(スポーツ推進委員・地区公民館)	体育協会研修会①(熱中症予防・食育等)	体育協会研修会①(熱中症予防・食育等)	【上北条】ファミリーバドミントン(5回87人)	【西郷】ファミリーバドミントン(1回14人)	【北谷】ファミリーバドミントン(3回67人)【小鴨】(3回27人)【上小鴨】(4回65人)	【上灘】ファミリーバドミントン(4回162人)【成徳】(3回65人)【関金】(2回16人)	加藤伸一 野球教室(野球振興協議会主催)	谷川哲也 スポーツ教室(12/23)	体育協会研修②(競技力向上)	体育協会研修③(テーピング)	体育協会研修③	本年度よりスポーツ推進委員が中心となって各地区でスポーツ教室(ファミリーバドミントン)を開催。ニュースポーツ交流会には昨年度の13チームを上回る30チーム114名の参加があり、地域スポーツの振興に大きな役割を果たした。  【各種補助】 ・児童・生徒全国大会補助金2/20現在で19件であり昨年度末22件を下回った。  【学校開放】 ・例年と変わらず30,000人を超える利用者があり、地域スポーツの振興に寄与している。利用者間のトラブル(相手を誹謗中傷する)も見受けられた。  【海洋センター】 ・記録的猛暑や台風等の影響により利用人数が1,307人とH度実績1,922人を下回った	B	B	○体育施設指定管理者の選定については、1社のみの応募であり、引き続き(株)ミズノで決定。ミズノにはハード面だけの管理ではなく、ミズノ独自のノウハウを用いたソフト事業の推進を求め充実を図る計画。  ○海洋センターは、震災以降に異常気象による高温状況が続いたことで、利用人数はさらに減少。このため、魅力ある教室等ソフト事業の9充実をはかるため、来年度以降は体育施設指定管理者と協力した事業を計画・実施する。また既存事業である大人の教室も来年度以降、関西ワールドマスターズを意識した運営をするなど充実を図ることとする。		
				海洋センターカヌー教室(小中学生4月～9月)指定管理者による各種教室		(大人の教室6月～9月)	小中学生全国大会出場						加藤伸一 野球教室(12/2野球振興協議会主催)								
				児童生徒全国大会出場費補助金						申請19団体											
				桜相撲補助金4/29開催																	
				日本海駅伝補助金									大会中止								
				学校開放																	
				体育施設																	
				体育施設指定管理選定委員会			第1回選定委員会 募集要項の作成	第2回選定委員会 募集方法の決定	募集要項等決定 募集：8/1～8/30 現説：8/17 質問：8/8～8/21 募集締切8/30	質問・回答 選定員の推薦(9/27通知)	選定員の決定 一次審査開始 二次審査通知 プレゼン実施	二次プレゼン実施 候補者決定	議案提出	告示 協定書作成 事務引継							
				温水プール							8/6 鳥取県B&Gスポーツ交流会										特別休館(1週間)
				海洋センター(4/7～9/30)			海洋センター指定管理に向けた方針協議・決定						海洋センター指定管理に向けた方針協議 モンベル、スノーピークに意見聴取								

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	3 スポーツ指導者の養成・団体の育成	生涯学習	第1回体育協会常任理事会・理事会 体育協会総会	スポーツ団体の情報の公表・更新  体育協会常任理事会(5/21) 理事会(5/25)		市民体育大会(7/16 水泳競技)	県民スポーツ選手派遣(水泳競技 8/25, 26)  市民体育大会総務委員会・実行委員会(8/22)	中部駅伝選手派遣9/9 中止  市民体育大会監督会議(9/20ソフトボール・9/27バレーボール)	市民体育大会(倉吉マラソン他競技開催(12競技10/8, 3競技10/14))  女子駅伝・日本海駅伝協力(10/7)	きたろうカップ駅伝選手派遣(10/14)  県民スポーツ秋季選手派遣(各競技10/20～10/28の間) 米子～鳥取間 駅伝選手派遣(11/10～11/11)	スポーツ表彰候補者推薦	スポーツ表彰選考委員会(1/16)	市民栄誉賞スポーツ表彰式ふるさと大賞(2/17)  県民スポーツ選手派遣(冬季)(各競技2/10～3/3の間)	監査会(3月中)	【体育協会】 市民体育大会を7月と10月に開催。天候にも恵まれけが人もなく終了した。しかし、参加人数が年々減少しており、更なる参加の促進を行う。市HPや各団の協力をお願いしたい。 天候不良により中止になった大会もあったが概ね予定通りに開催。各団の情報公表・更新は出来ていない。スポレクも学校、団体を中心に参加があり多くの方がスポーツに親しめたのではないかとと思われる。	B		○多様化するスポーツ活動に対応するためには、体育協会加盟各団の現状を把握するとともに、体育協会としてのビジョンを定め、現在の体育協会に必要な変化を検討する。 また、調査に合わせて住民ニーズを把握し、現在の協会活動内容と比較検討することで、事業の方向性、各団体への支援、指導者確保等スポーツ推進に繋がる各事業の整理統合、新設を行うことを計画する。
				協議会総会(4/24)  第1回役員会(4/17)  県スポーツ推進員研究大会運営委員会  ・県スポーツ推進員協議会理事会・代議員会・編集委員会(5/12)	実技研修打合せ会  県スポーツ推進員協議会理事会・代議員会・編集委員会(5/12)	スポーツ推進委員会 ・第1回講習会打合せ会(6/7)  ・SUN・IN 未来ウォーク協力(6/2, 3)	第1回実技研修会打合せ会(7/18)  中部地区実技研修会(7/22)	第1回講習会 第1回実技研修会(8/30)	第2回役員会(9/11)  県スポーツ推進員研究大会運営委員会・リーダー研修会	女子駅伝協力日本海駅伝協賛(10/7)  県スポーツ推進員研究大会(12/1 12/2)	全国スポーツ推進員研究大会(11/15 11/16)	第2回実技研修会(12/10)	ニュースポーツ交流会打ち合わせ(2/5)  ニュースポーツ交流会(2/10)	第2回講習会  ・県民のスポーツ編集委員会(2/10)	決算監査(3/5) 第3回役員会(3/12)	スポーツ表彰は市民栄誉賞とふるさと大賞との共催で行った。例年よりも少ない人数であったが受賞者への励みになった。受賞者の中で受賞の内容が間違っていたり、受賞対象だったのではというような内容のメールも届いていたのでチェック体制をしっかりと、来年度はより良い式となるように準備する。	B	B	○スポーツ推進委員の主体的事業展開を図るため、地域スポーツ教室を全市統一、ニュースポーツ交流会を発表の場とすることで多くの市民に参加いただけたことは評価できる。しかし、ニュースポーツ等誰でも気軽に参加できるスポーツ活動環境整備には、さらに一歩踏み込んだ事業展開が必要であり、現在の動きを一過性のものとしないためにも、来年度は推進委員協議会と協議しスポーツ推進委員独自で活動できる体制の構築を図る。
				市スポーツ少年団本部総会(4/23)  市スポーツ少年団交流大会(野球4/7, 4/8、バレー4/29)	中部地区スポーツ少年団総会  中部地区スポーツ少年団交流大会(5/12)	中部地区スポーツ少年団交流野球大会開会式(6/23)	中国スポーツ推進員研修大会  ・体力・運動能力測定(7/7) 中止  ・県スポーツ推進員研究大会運営委員会・リーダー研修会(7/14)	中国スポーツ推進員研修大会(6/16, 17)	中部地区スポーツ少年団交流野球大会決勝トーナメント(9/2, 9/22)	中部地区スポーツ少年団交流バレーボール大会(11/11)  中部地区スポーツ少年団交流バドミントン大会(11/24)	中部地区スポーツ少年団交流バレーボール大会(11/11)	スポーツ少年団リーダー研修会	キッズバレーボールリーグ交流大会(1/20)	キッズバレーボールリーグ交流大会(1/20)	市及び中部地区スポーツ少年団監査(3月中)  スポーツ少年団リーダー研修会(3月中)	【スポーツ少年団】 概ね計画通りに進めることができた。スポーツ少年団員も数が減ってきており、チームが組めない場合があったりと、今までと同じような大会の進め方で良いのかという課題もある。市の携わる大会以外での試合も多数あり、試合を組み入れるのも難しくなっている。大会のあり方を再考する時期にきているのではないかと考える。	B	B	○子ども達のスポーツ活動において、昨今ケガや故障の事例が多く報告されている。また、試合数が多いことがケガ等に繋がっているとの事例もあるため、次年度以降スポーツ少年団の事業を見直すとともに、指導者の意識改革を含む研修等を充実させる。  ○児童数、指導者の減少にともない子どものスポーツ機会が少なくなっている。このためチーム等のあり方も検討し、多くの子どもがスポーツ活動に親しめる環境を推進する必要がある。



〈評価基準〉	
A	・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	・・・当初の目的・目標を達成した
C	・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	・・・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の保存（修理・修景事業、保存計画の策定）	文化財	平成29年度繰越修理事業 38棟 程度	現状変更部会（第1回）	伝建審議会（第1回）7/2	文化庁現地指導 7/18-19 伝建事業講演会 7/18	現状変更部会（第2回）	現状変更部会（第1回）10/29 建造物修理報告会②	伝建審議会（第2回）11/27	文化庁現地指導（2回目）11/9-10	平成29年度繰越修理事業 38棟完了	伝建事業に関する啓発事業（長谷の観音市）2/17 修理建物一般公開	伝建審議会（第3回）3/28	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した241棟に対し156棟(64.7%)まで工事完了。くら用心の土蔵の修理完了。</li> <li>・災害復旧事業は建造物の健全化だけでなく、耐震補強を11棟実施し、保存地区全体の防災力向上を図った。</li> <li>・修理物件を公開し、柱の根接ぎ、基礎工事、建物の立て起しの状況を見てもらい、伝建修理の理解を図った。</li> <li>・災害復旧事業-24棟だけでなく、2ヶ月休止していた通常の修理・修景事業-7棟の31年度計画を作成した。</li> </ul>	
				平成30年度第2回伝建事業説明会	伝建地区見学会・修理見学会④	平成30年度第3回伝建事業説明会	くら用心災害復旧工事	平成31年度へ計画変更 5棟	平成30年度修理事業 31棟完了	平成31年度繰越修理事業 9棟	平成31年度第1回伝建修理手続き説明会	平成30年度繰越・31年度修理手続き説明会						
				平成30年度修理事業開始 50棟 程度					住まい職人の技 in 倉吉中止									
								平成31年修理事業募集開始										
	2 文化財の積極的な情報発信	文化財	市内に存在する文化財の調査と保護	史跡の維持管理												B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大御堂廃寺跡保存活用計画は、史跡の本質的価値を抽出し、大綱までの素案を作成した。</li> <li>・小川家住宅・小川氏庭園、桑田家住宅の修理は番付や工法の検討など文化財調査を行いながら適切に行った。所有者の意向を確認しながら、文化財的価値を損なわないよう修理の年次計画を立てた。</li> <li>・文化財パンフレット『倉吉文化財さんぽ』を作成・配布、「満正寺所蔵地藏菩薩立像」の看板を作成し、文化財啓発に役立てることができた。</li> </ul>
				指定文化財候補の調査														
				小川氏庭園修理事業	桑田家住宅修理事業	文化財パンフレット作成	不入岡の石仏の修理	鳥飼家住宅一般公開	文化財ウォーク（社地区）11/3	文化財パンフレット完成								
						中尾遺跡第3次												
埋蔵文化財の調査（試掘調査・発掘調査）	文化財	埋蔵文化財の調査（試掘調査・発掘調査）	発掘調査	平成29年度事業											B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両長谷遺跡の発掘調査では、弥生時代後期の集落跡（竪穴住居9棟）が見つかった。うち、1棟は焼失住居で、建築構造の情報を得ることができた。</li> <li>・石塚・福山地区の試掘調査では、古代条里を確認し、石塚廃寺跡に関わる遺物が出土した。</li> <li>・予定していなかった個人造成の案件に試掘調査を入れて対応できた。</li> </ul>	
			各調査の事前協議、調査後開発側との協議	津原遺跡群（県道倉吉東伯線）※繰越	両長谷遺跡2次表土剥ぎ立会	発掘調査	両長谷遺跡2次（産業廃棄物処分場整備事業）											
			試掘調査															
			個人住宅調査	河原町地区（小川氏庭園）追加	国府地区（産業廃棄物処分場整備事業）		大谷工業団地（試掘の追加）	石塚・福山地区（国道313号倉吉開金道路）	東岩倉町地区（倉吉淀屋トイレ）追加	石塚・福山地区（国道313号倉吉開金道路）	河原町地区（小川氏庭園）追加	国府B地区（竹林処分）追加 福光地区（太陽光設備工事）追加						
			遺物整理作業															
				遺物洗浄、図面整理、写真整理等														報告書作成（市内遺跡）

(評価基準) A・・・当初の目的・目標を上回る成果が上がった B・・・当初の目的・目標を達成した C・・・当初の目的・目標を下回る成果に止まった D・・・当初の目的・目標を大きく下回った	
---	--

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	13 親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術所蔵品展(3/27～4/8)「花の咲く風景」</li> <li>・歴史民俗資料館外展示(河本家、淀屋)</li> <li>・歴史民俗資料館(土天神)</li> <li>・共催展「山本二三展」開催(14～5/20)</li> <li>・第1回郷土刀展実行委員会(21日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回郷土刀展実行委員会(12日)</li> <li>・第3回郷土刀展実行委員会(26日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座①(17日)「暮らしに欠かせない器ー黒見焼・矢田彰儀の作陶」</li> <li>・倉吉市美術展覧会 前期10～19日 本画、工芸、書道、デザイン) 後期24～7/3 洋画、版画、彫刻、写真)</li> <li>・黒見焼・矢田彰儀作陶展(6/10～7/3)</li> <li>・第4回郷土刀展実行委員会(9日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座②(1日)「色・イロ・いろ」うちわにひろがる」</li> <li>・歴史民俗資料館収蔵品展「倉吉絆と昭和の風景」</li> <li>・第5回郷土刀展実行委員会(14日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座③(4日)「日本刀の魅力と古伯耆物」</li> <li>・美術収蔵品展(1～26日)</li> <li>・鳥取県の郷土刀展開催(4～26日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座④(8日)「前田寛治大賞受賞作家 森吉健さんとまちなみを描こう」</li> <li>・考古展示替え「よみがえる古代の美」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座⑤(20日)「星空を見上げてみよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県美術展覧会(10日～26日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座⑥(9日)「太一車の開発～老農・中井太郎～」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座⑦(19日)「古記録に学び、記憶を伝えよう」</li> <li>・美術収蔵品展「郷土ゆかりの日本画Ⅰ」「大坂弘道展」</li> <li>・歴史民俗資料館「新春に遊ぶ～すごろく・凧・羽子板～」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座⑧(16日)「子持壺と古墳時代の葬送儀礼」</li> <li>・美術収蔵品展「郷土ゆかりの日本画Ⅱ」「大坂弘道展」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館講座⑨(3日)倉吉の仏師 仲倉裕朋</li> <li>・博物館講座⑩(21日)「やってみよう切り絵」</li> <li>・創作文華展の開催(19～24日)</li> <li>・考古展示替え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり進行した。</li> <li>・郷土刀展の開催は、未着手の分野であったが、協力者等の指導・助言により実施でき、展示の仕方など多くの入館者に好評を得た。</li> <li>・館外展示や郷土ゆかりの物故作家の顕彰も進めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度は、約3年ぶりに年間を通して開館することが出来た。平成27年下半期からの耐震補強工事、災害復旧工事等に伴う休館が続いたためである。賑わい創出の春の催事にはじまり、市展・県展・創作文華展の開催、年間10回の博物館講座の実施、郷土刀展の企画と展示、普及事業等、例年にも増して多彩な展示活動及び普及活動に取り組んだ。</li> <li>・トリエンナーレ美術賞が第10回の節目を迎えた。前田寛治大賞の認知度は年を追って増している。若手洋画家の育成の場としても期待が大きい。10回展を一つの区切りとし、県立美術館の整備に伴い、今後の事業の進め方を協議していくことが求められて来る。</li> <li>・開館45年を迎え施設の老朽化が著しい。例年どおり鑑賞環境の整備に務めた。</li> </ul>
		2 トリエンナーレ美術賞(前田寛治大賞)の実施	博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展委託契約締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展指名作家への作品搬入連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展審査会(7日東京)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展大賞等受賞作品広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展東京会場(8～14日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展倉吉会場(8～10/8)</li> <li>・前田寛治大賞10回記念トークイベント開催(9日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前田寛治大賞展作品返却</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画どおり進行した。</li> <li>・創設30年の節目となる第10回展として、前田寛治大賞を振り返るトークイベントを実施し、美術賞の開催意義について理解をふかめることが出来た。</li> </ul>	A	
		3 災害復旧工事と施設改修工事	博物館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史民俗資料館空調機設置(29日取り替え完了)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館・歴史民俗資料館全館燻蒸(3～7日に実施しその間休館)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用蓄電池交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館中長期保存計画に沿った改修計画の策定</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常用蓄電池触媒栓交換</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料館棟貯水槽給水ポンプユニット修繕</li> <li>・収蔵庫棟外壁修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日程を変更した業務もあったが当初どおり実施した。</li> <li>・老朽化した機器類等の修繕を行った。</li> <li>・中長期改修計画の策定は中途のまま据え置きとした。</li> </ul>	B	

〔評価基準〕	
A	・当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	・当初の目的・目標を達成した
C	・当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	・当初の目的・目標を大きく下回った

項目	重点施策	主な施策	担当課	取り組み計画					取り組み計画					実績	実績評価	施策評価	最終評価		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月					2月	3月
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	14 豊かな心を育む図書館づくりの推進	1 図書館資料の収集提供、レファレンスサービスの充実	図書館	【倉吉】 自閉症啓発展示（世界自閉症啓発デー） 本でひらこう世界への扉 世界の絵本でしりとりカーニバル 【せきがね】 おやつのカートニバル！ 世界の絶景を見に行こう！	子どもの読書週間 【倉吉】 本でひらこう世界への扉 世界の絵本でしりとりカーニバル 【せきがね】 おやつのカートニバル！ 世界の絶景を見に行こう！	【倉吉】 山陰柴犬ってどんな犬 【せきがね】 お父さんこの本読んで！ 森林浴を楽しもう～祝☆大山開山1300年～	【倉吉】 山陰柴犬ってどんな犬 夏の昆虫、植物の調べ方 図書館で夢を実現しました 大賞PR 【せきがね】 外でおうちで100%遊んじゃおう 真夏のホラーまつり	【倉吉】 郷土の刀剣PR・日本刀の魅力にせまる 鳥取地方気象台「お天気広場」 気象の図書紹介 元気な今から認知症予防 【せきがね】 星のクイズで夏を楽しもう！ 粋にゆかたで夏祭り	【倉吉】 元気な今から認知症予防 秋を感じる絵本紹介 防災月間PR 未来中心連携企画「孤独のグルメ」 【せきがね】 県人作家の本を読んでみよう！ 家族を考える・感じる本 追悼 さくらももこ先生	【倉吉】 秋の催しに関する展示 （森のようちえん） 地震に関する展示（防災月間） 【せきがね】 追悼 さくらももこ先生 ぬいぐるみが主役！な絵本	【倉吉】 心の病気啓発展示 武田美穂さんの絵本 自然を東ねる～ナチュラルリース 【せきがね】 寝る前に読書でホッと一息 絵本を通して異文化に触れよう	【倉吉】 アーサー・ピナード特集 障害者週間PR 国会図書館開館70周年 【せきがね】 年末年始お助け本特集	【倉吉】 よく読まれた本の紹介 「本の福袋」の中身を紹介します 【せきがね】 きみはなに年生まれ？十二支の動物たち じゃらじゃらおみくじ	【倉吉】 冬の渡り鳥紹介 図書館でつかむ農業のヒント 【せきがね】 心も体もあつたか絵本 2018映画化作品特集	【倉吉】 新社会人新入学生にお勧めの図書紹介 まにわにいこう（真庭商工会協力） 【せきがね】 音楽を楽しむ絵本 元気ハツラツ健康法	話題になっている事柄や時期を得たテーマの展示を工夫しながら数多く実施するとともに、資料を収集し読書への関心を高めた。レファレンスの技術を高めるため研修・事例学習を継続している。	B		・県、市、他の図書館、商工会議所などと協力し合い話題性のある展示を実施した。 ・読み聞かせの普及に効果があるブックスタートや小中学校と連携した絵本作家講演会は好評で、来年度以降も継続して実施し読書活動の啓発に役立てたい。 ・3回目の全国公募となった山上憶良短歌募集事業は昨年度以上の応募があり、県外からの応募が地元を上回るなど次第に全国大会の様相が整いつつある。今年度も全国・海外の方に倉吉の元気をPRすることができた。
		2 読書活動の推進	図書館	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 35人 1歳6ヶ月 28人 国際交流フォーラム講演会（共催 4/22）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 37人 1歳6ヶ月 35人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 28人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 30人 1歳6ヶ月 31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 35人 1歳6ヶ月 31人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 20人 1歳6ヶ月 30人 製本講座 オレンジネットワークリレー講演会（共催 9/9）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 27人 1歳6ヶ月 30人 鳥取県中部地震を忘れない講演会（10/7）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 28人 1歳6ヶ月 34人 夫人のためのおはなしかい ぬいぐるみのおとまりかい （10/17・18）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 33人 1歳6ヶ月 30人 子育て作家講演会（武田美穂 12/2・3） 上灘公・交流プラザ・上灘小・東中 アーサー・ピナード講演会（共催12/10）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 35人 1歳6ヶ月 29人	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 26人 1歳6ヶ月 26人 農業者のための図書館活用ミニ講座（共催 2/3） 農業者のための情報セミナー（共催 2/9）	ブックスタート絵本の読み聞かせ 6ヶ月 1歳6ヶ月 ※個人貸出数7.0冊を目標。	好評のブックスタートは今年も円滑に実施できた。絵本作家講演会を行い多くの市民に喜んでいただくとともに、引き続き小学校・中学校各1校と連携してワークショップ・講演を実施し、子どもたちの想像力を刺激し、また将来の職業選択の参考とし読書意欲を膨らませることができた。他機関と協力し共催事業も多く実施し人気を集めた。	A	B	
		3 山上憶良短歌賞全国公募	図書館	山上憶良短歌賞実行委員会開催（5/9） 実施要項決定 広報媒体（ポスター・チラシ作成・配布開始）市ホームページ等に掲載。	山上憶良短歌賞実行委員会開催（5/9） 実施要項決定 広報媒体（ポスター・チラシ作成・配布開始）市ホームページ等に掲載。	全国結社に広報・応募協力依頼 永田先生と打ち合わせ（6/9） 県歌人会による小学生作歌指導	県歌人会による小学生作歌指導 上野誠万葉講演会（共催 7/15） 県歌人会による小学生作歌指導	県歌人会による小学生作歌指導 関連資料の館内展示・事業PR 雑誌広告掲載（NHK 角川） 山陰万葉を歩く会連携会議（8/9）	県歌人会による小学生作歌指導 夫人のための作歌教室 山上憶良短歌賞作品受付	県歌人会による小学生作歌指導 夫人のための作歌教室 山上憶良短歌賞作品受付	山上憶良短歌賞作品受付 大人のための短歌教室（11/21・28）	応募作品取りまとめ 山上憶良短歌賞審査方法検討会（12/21）	山上憶良短歌賞審査（第1次審査会 1/11）	山上憶良短歌賞受賞作品集編集 山上憶良短歌賞最終審査会（2/14） 第63回倉吉文芸表彰式（2/16） 第2回山上憶良短歌賞実行委員会（2/26）	山上憶良短歌賞表彰式（3/16） 受賞作品集発行（3/16）	3回目の全国公募となった山上憶良短歌賞は応募数が5,518首と昨年度を上回った。国内のすべて47都道府県から応募があり、倉吉と山上憶良の活躍を広く喧伝することができた。審査もスムーズで事務も滞ることもなく進めることができた。	B		